

交換留学帰国報告書

記入 | 2025 年 12 月
所属 & 学年 | 経済学部 4 年
卒業予定 | 2027 年 3 月

留学先大学	西オーストラリア大学
留学先国	オーストラリア
留学期間	約 10 ヶ月 (4 年次に留学)
留学開始 - 終了	2025 年 2 月 16 日 - 2025 年 11 月 21 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

英語力の向上と将来のキャリア形成に役立つ学びを得るために留学を決めました。渡航先としてオーストラリアを選んだ理由は、英語圏の中でも比較的治安が良く、安全な環境が整っているため。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

高校生の頃から漠然と留学への憧れがありました。また、将来のキャリアを考える中で、一度海外生活を経験し、実際に自分に適正があるのかを確かめたいと思った。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
アメリカ合衆国	小学 5 年生	親の仕事の都合上 (4 年間)

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのくらい前でしたか？

応募から約 5 ヶ月ほど前 (大学 2 年生の 12 月頃)

⑤海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

海外留学室では、留学先の選び方や履修科目について相談しました。また、実際に留学をしている先輩を紹介していただき、現地での留学生活について詳しく聞くことができました。自分だけで情報収集するには限界があるので、海外留学室を積極的に活用することをおすすめします。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

IELTS を 1 回受験しました。

試験勉強は、参考書やインターネットの教材を使って試験対策をしていました。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関してのアドバイスをお願いします。

留学前の GPA によって申請できる奨学金の種類に制限が生じるため、日頃から高い GPA を維持することは重要だと感じます。留学を検討している学生さんは、早い段階から成績管理をした方がいいと思います。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えて下さい。

- Financial Accounting (ACCT 1101)

講義 2 時間/週 チュートリアル 1 時間/週

財務会計の基礎を学ぶ科目です。借方・貸方などの仕訳から始まり、損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書などの財務諸表について理解を深めます。また、オーストラリア独自の会計基準でもある AASB についても触れました。全体を通して、理論よりも計算が中心の授業でした。

チュートリアルでは、事前課題に取り組んだうえで授業に参加し、解説を聞きながら周りの学生と意見を共有しました。

- Business Communication for Change, Influence and Impact (BUSN 1104)

講義 2 時間/週 チュートリアル 1 時間/週

この科目では、個人や組織におけるコミュニケーションが、変化や成果にどのように影響を与えるかを学びました。講義では、正確な情報収集の方法、批判的・創造的思考、文章・口頭・視覚を用いたコミュニケーション、説得力のあるプレゼンテーション手法などについて学びました。

チュートリアルでは、毎週設定されたテーマについてディスカッションを行い、最後に 3 分程度の発表がありました。資料作成から発表時の注意点など、今後のキャリアにも活ける実践的なスキルを身につけることができました。

- Feeding the World (AGRI 1001)

ワークショップ 3 時間/週

週に 1 回ワークショップ形式で進められる科目です。事前に講義資料については目を通して予習をすることを前提としていました。そのため、予習なしでは理解が難しいと思いました。ワークショップでは、オーストラリア農業を中心に、毎週違う農作物を題材としてグループで議論や課題に取り組みました。その際には、題材となる農作物を配られて実食することができます。また、課外学習として実際に農業を営んでいる方を訪問し、現場での取り組みを学ぶ機会もありました。

- Management Accounting (ACCT 2112)

講義 2 時間/週 チュートリアル 1 時間/週

原価計算や予算の作成だけでなく、管理会計に関わる会計理論まで幅広く学ぶ授業でした。理論の内容を理解するために、配付資料や教科書などを繰り返し読んでいました。

チュートリアルでは、事前に指定された課題をもとに授業が進みます。クラスが 2 つのグループに分けられ、毎週交互に課題の内容の解説をし、ディスカッションを行いました。

- Accounting Information System (ACCT 2242)

講義 1.5 時間/週 ワークショップ 1.5 時間/週

会計と情報システムの関係について学ぶ科目です。会計データを正確かつ有効に活用するためのデータの生成・保存方法、内部統制、データ分析、さらに会計業務に影響する新しい

技術について理解を深めました。実際に会計ソフトを使用してデータを入力し、財務諸表を作成する演習も行いました。

ワークショップでは、事前に指定された課題をもとにディスカッション中心の授業形式でした。ディスカッションに参加しないと評価が上がらないため、積極的に発言をしていました。最終課題では割り当てられた企業の財務諸表を分析し、経営状況に言及するプレゼンテーションを行いました。

・ How to Manage Your Personal Finance (FINA 1109)

講義 2 時間/週 チュートリアル 1 時間/週

金融の基礎知識を学ぶことができます。例えば、お金の現在価値や将来価値の概念とその計算方法や資産の種類など学びました。また、オーストラリアの税金・保険・株などについても説明してくれます。将来、投資や資産運用などに興味がある学生にとっては有益な授業だと思います。

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

毎回必ず予習をして授業には参加していました。また、講義は録画されているため、復習をする際にはそれらを活用し、理解が不十分な点を確認していました。

③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

学習面では、専門用語が多く、当初は英語で講義内容を十分に聞き取ることができず苦労しました。また、名古屋大学の授業と比べて、UWA の授業は扱う内容量が多く、進行スピードも速かったため、最初は戸惑いを感じました。そこで、予習にかける時間を多めに取り、専門用語や講義内容を事前に確認した上で授業に臨んでいました。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

UWA は全体的に穏やかで落ち着いた雰囲気でした。キャンパス内にはリラックスできる場所がいくつかあるため、学生だけでなく地域の方もくつろいでいる様子が見られました。また、留学生の比率が高く、学内には様々な国籍の学生があり、多文化的な環境の中で学ぶことができました。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

大学全体に Wi-Fi が整備されているため、ネット環境で困ったことは特にありませんでした。また、大学内の施設も充実しており、図書館やカフェ、スーパー・マーケット、ジムなど多くの施設が揃っていました。大学の立地も良く、バスで約 15 分ほどでパース市内の中心部にアクセスすることができます。徒歩圏内にも、レストランやカフェなど多くのお店があります。さらに、近くにはキングスパークという公園や湖などの自然豊かな環境が広がっており、勉強の合間のリフレッシュにも適した場所でした。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

留学先では、学生寮での生活やスポーツを通じて、現地の人と交流を深めました。私が住んでいた学生寮(University Hall)では、定期的にイベントが開催されており、多くの学生と交流することができます。また、大学には Social Sports というものがあり、友達とチームを組んで週に 1 回試合を行っていました。私はサッカーを選びましたが、他にはバスケやバレーボール、アルティメットなど様々なスポーツがありました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

パース市内の中心街に食事に出かけたり、ビーチで時間を過ごしていました。また、学生寮内にある Games Room という場所では、卓球やビリヤード、ボードゲームなどを通じて友人と交流を深めていました。長期休暇中には、キャンプやロードトリップに出かけ、日本ではなかなか体験できない大自然に触れることができました。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

屋外は暑い日でも、教室や講義室内は冷房が効いており、寒く感じることがあったため、羽織れる上着を常に用意するようにしていました。また、冬は夏との気温差が大きいため、体調管理には注意していました。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えて下さい。

私は数回ほど病院へ行きました。その際は、大学から案内された海外保険に加入していたため、医療費は払っていません。受診に必要な書類（身分証明書、保険証など）を携帯していれば、スムーズに診察を受けることができました。

③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。

はい（種類：）

いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 下宿 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

寮の食事はビュッフェ形式で提供されており、自分の好みに合わせて選ぶことができます。一方で、寮の部屋では夜間に騒音が発生することが数回ありましたが、その際には寮の管理している人が対応してくれたため、大きな問題にはなりませんでした。また、パースは比較的治安の良い都市であるものの、夜間は1人では出歩かないようにしていました。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてよかったですと思うものは何でしょうか。

日差しが強いため、帽子やサングラスは必要だと思います。また、寮内を歩く際のサンダルやスーツもあると助かります。実際にスーツは就職活動やフォーマルなイベントの時に着用しました。そして、冬は気温が下がるため、ダウンなどの厚手の上着を持参したほうが良かったと感じました。

他には、体調を崩した場合のために、常備薬は多めに持つておいて方がいいと思います。現地は乾燥しているため、喉を痛めやすく、喉薬を使用する機会が多くありました。

一方で、支払はほとんどの場所でカード決済が利用できるため、現金はあまり必要ありませんでした。

- ④参考となる留学先国情報（出版物、web サイト）を教えてください。

渡航先大学のホームページや SNS

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

学生寮の費用の中に食費や水道光熱費など含まれていますが、全体として寮費は高いと感じました。また、日用品などの物価は日本の 2 倍程度であるため、日々の支出管理が重要だと思います。そのため、私はスマートフォンのアプリを活用して日々の支出を管理していました。

- ②奨学金は受給していましたか。

はい (奨学金名: JASSO 支給額: 9 万円/月 渡航準備金 13 万円)

いいえ

- ③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	20 万円	
保険代	20 万円	オーストラリアと日本の保険に加入しました
予防接種・ビザ代	16 万円	
住居費	200 万円	
食費	1 万/月	外食・娯楽など
教科書代	0 円	講義資料は全て配布され、教科書も e-book で読むことができます

H. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

進学

就職

その他 ()

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

今後は日本で就職活動を進めていく予定です。留学前から海外で働くことにも関心を持っており、留学を経験した現在もその考えに変わりはありません。今後は、将来的に海外で働くことも視野に入れながら、その目標を実現できるような仕事に携わっていきたいと考えています。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

留学中は主にオンラインで就職活動を行い、会社説明会やインターンシップなどのイベントに参加していました。ただし、日本と時差があるため、イベントの開始時間や締め切りを見落とさないよう、時間管理には注意していました。

私の周りには、ボストンキャリアフォーラム（留学生向けの就職活動のイベント）に参加している日本人留学生もあり、留学中でも様々な形で就職活動に取り組むことが可能だと感じました。

I. 留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

この留学を通して、学業面・生活面の両面において、非常に充実した日々を送ることができたと感じています。留学当初は、大学の授業や交友関係で苦労はありましたが、周りのサポートに助けられ、次第に環境に慣れていきました。また、異なるバックグラウンドの人々と共に時間を過ごす中で、自分の価値観を見つめ直す機会が多くありました。留学生活では様々な経験をしましたが、それら一つひとつが自分自身の成長につながったと実感しています。

②留学したことでの変化

留学を通じて最も大きく変化した点は、自分の考えを言葉で伝えることへの意識です。日本で周囲の空気を読み、調和を重視する文化がありますが、海外では自己主張を求められます。授業内のディスカッションの中では、自分の考えを明確に伝えることの重要性を実感しました。さらに、海外で生活することで、日本という国の魅力や強みを改めて実感しました。治安の良さや人々の細やかな気配りなど、日本では当たり前だと思っていた環境の価値を再認識することができました。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージ

留学は、準備の段階から大変であるため、その過程で不安を感じたり、心が折れそうになったりすることもあると思います。しかし、周囲には大学の先生方や家族など、支えてくれる人はたくさんいます。私自身も悩みがあった際には大学の先生方に相談しており、誰かに頼ることで気持ちが楽になることを実感しました。

また、渡航後も思い通りにいかない場面や試練に直面することがあるかもしれません、それらを乗り越えることで、新たな自分を発見できる貴重な経験になると感じています。もし留学に行きたいという思いがあるのであれば、ぜひ挑戦してほしいと思います。

過ぎ去った時間は戻ってこないからこそ、皆さんのが悔いがないよう、自分が納得できる大学生活を送ってください。

◆自由記述欄◆

渡航先の大学や留学の様子がわかる写真（メール添付でも可）を下記へ、ぜひ共有してください。報告書はWebサイトや印刷物として公開するため、被写体の人物へ使用についてあらかじめ承諾を得てください。添付された写真は、すべて被写体の人物から公開承諾を得たと判断し、海外留学室のWebサイトや印刷物へ使用します。



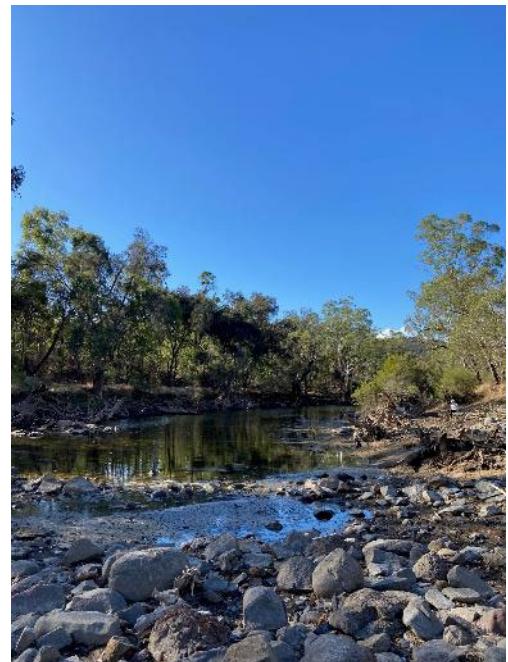
大学の近くにある Maltida Bay



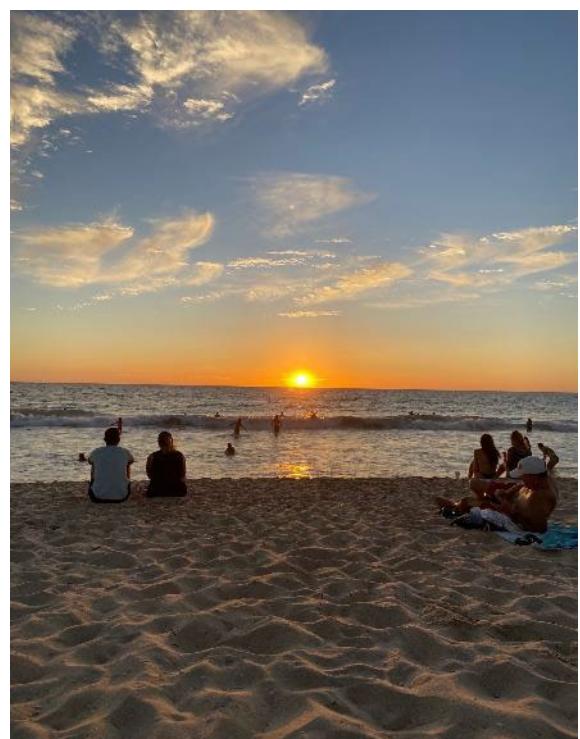
Social Sport でのチーム写真



上と右の写真はキャンプに行った時



ロットネス島



スカボロビーチでのサンセット

以上